

(宣言日) 令和 6 年 11 月 20 日

## 富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	合同会社 Zero-Park
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	代表取締役 佐野 正
所在地	富士宮市大中里 6-3
U R L	
電話番号	08061189618
メールアドレス	t508697231@gmail.com
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の耕作放棄地・放置竹林問題を解決し、環境を守りながら地域経済を活性化する拠点となる。</li> <li>・ ドローン技術の活用を通じて、新たな産業を創出し、地域に雇用と活力を生み出す。</li> <li>・ 地域住民や観光客にとって魅力的な空間を提供し、コミュニティの活性化に貢献する。</li> <li>・ 環境保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献する。</li> </ul>	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地をドローン練習場として再生し、放置竹林を活用した竹炭生産を行う。</li> <li>・ ドローン技術を活用した空撮サービス、点検サービス、農業支援サービスを提供する。</li> <li>・ 地元食材を活かした農業カフェを運営し、地域の魅力を発信する。</li> <li>・ 環境教育プログラムやドローン体験会などを開催し、地域住民への環境意識啓発を行う。</li> </ul>	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2025 年 12 月までの取組内容及び目標
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地を再生し、ドローン練習場を整備することで、新たな雇用を創出する。</li> <li>・ 地域の雇用機会の拡大に貢献するため、従業員の採用を積極的に行う。</li> <li>・ 従業員に対して、働きがいのある環境を提供し、人材育成に力を入れる。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地を再生し、ドローン練習場として活用することで、地域景観の改善に貢献する。</li> <li>・ 放置竹林を活用した竹炭生産を行い、環境保全に貢献する。</li> <li>・ 地域住民や観光客が楽しめる憩いの場を提供し、コミュニティの活性化に貢献する。</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地の再生により、生物多様性の保全に貢献する。</li> <li>・ 放置竹林の活用により、森林資源の保全とCO2吸収量の増加に貢献する。</li> <li>・ 環境に配慮した事業運営を行い、持続可能な社会の実現に貢献する。</li> </ul>

(記入上の注意)

- 1 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 2 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 3 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)